

「酒田の城館」講師 須藤英之氏

(歴史考古学、山形史学研究会員)

酒田市内にある、古代から中世、近世にわたる「城館」を、最新の研究成果に基づき解説していただきます。古代では、出羽国府と推定されます「城輪柵」を中心に、政庁を高台に避難した「八森」遺跡の特色も加え、発掘状況も明らかにしながら講義します。また中世では、戦国の池田氏の朝日山城、来次氏の観音寺城を読み解き、近世では、酒田の重要拠点である亀ヶ崎城の各性格を明らかにしていただけるかと思えます。その途中で、藤島城などにも触れ、須藤氏なりの解釈をしていただくとお思います。

須藤氏は、これまで、山形城発掘調査にも携わり（山形市役所職員として）、県内の埋蔵銭や中世の民俗、信仰などにも興味を持たれ、数多くの論文を発表し、注目の若手研究者として活躍中であります。また埋蔵文化財などの保存にも関心が強く、文化財保存の提言も行ってきました。・・・1回で、古代から近世までの主要な「城館」についての講義を拝聴できる絶好の機会と思えます。

1. 主催 酒田民俗学会（会長小田純市）
2. 日時 令和元年5月26日（日）午後13：30～15：30
3. 会場 酒田市総合文化センター410・411室
4. 参加料 会員は無料、**会員以外は300円**を資料代としていただきます。
5. 申込み **特にいいません**。当日、会場においでください。
6. その他（問い合わせ先）
事務局 小野寺雅昭（090-8923-8058）まで。

